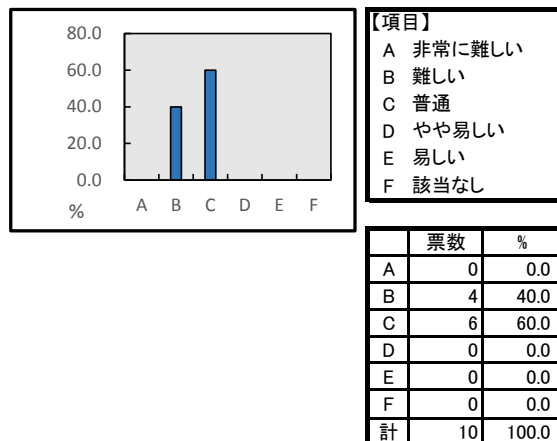


## 2014年度前期大学院薬学研究科薬科学専攻修士課程講義アンケートとその内容報告

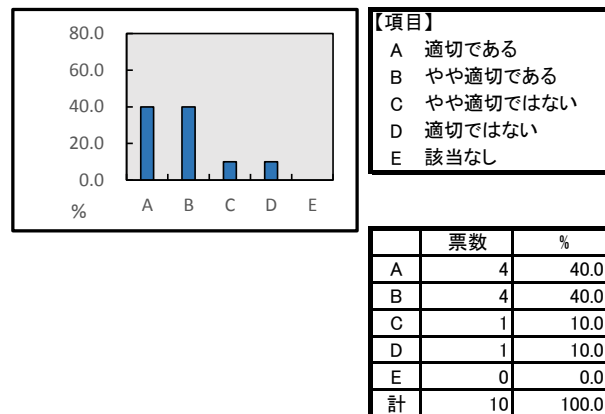
2014年7月実施

### 1. 講義内容について

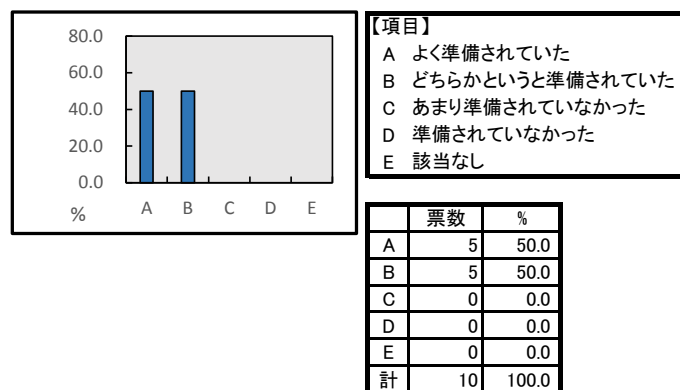
#### (1) 難易度について



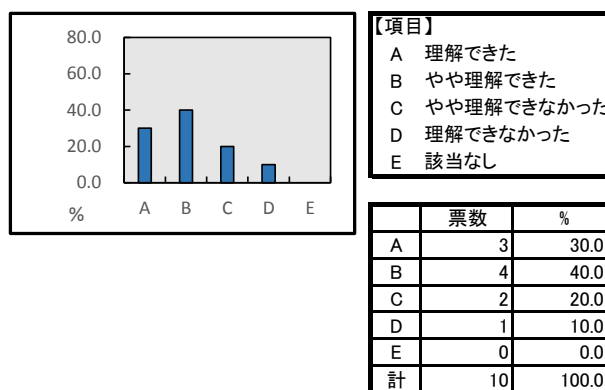
#### (2) 大学院講義としての適切性について



#### (3) 教員の準備について



#### (4) 理解度について



#### (5) 講義全体で良かった点

- ・明るく楽しく授業を展開してくれる。
- ・英語でのプレゼンテーションは良い経験になった。日本人でも聞き取りやすい文や言葉を使っていたので、理解し易かった。
- ・連絡などを先生がこまめに取ってくれる。
- ・最先端の医療の話聞いてよかった。
- ・先生方の研究内容が聞けたのがよかった。
- ・プリントを配付してくれる。
- ・分からない事が聞ける。
- ・全ての先生がスライド資料を配付してくれる。
- ・スライドや資料など理解の助けとなるものがよく準備されていて、分かり易かった。
- ・研究室の特徴が理解できた。
- ・先生方が親切である。

#### (6) 講義全体で悪かった点

- ・テストではなく、レポートにしてほしい。
- ・先生が変わりすぎなので、統一して欲しい。

### 2. その他、講義に対する希望やご意見などを記載してください。

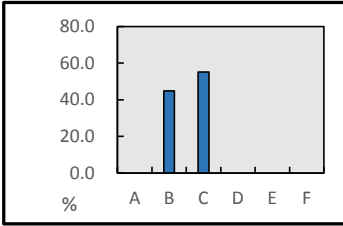
特になし

# 2014年度前期大学院薬学研究科薬学専攻博士課程講義アンケートとその内容報告

2014年7月実施

## 1. 講義内容について

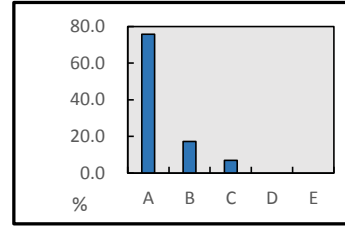
### (1) 難易度について



項目	票数	%
A 非常に難しい	0	0.0
B 難しい	13	44.8
C 普通	16	55.2
D やや易しい	0	0.0
E 易しい	0	0.0
F 該当なし	0	0.0

項目	票数	%
A	0	0.0
B	13	44.8
C	16	55.2
D	0	0.0
E	0	0.0
F	0	0.0
計	29	100.0

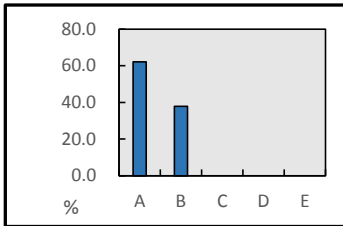
### (2) 大学院講義としての適切性について



項目	票数	%
A 適切である	22	75.9
B やや適切である	5	17.2
C やや適切ではない	2	6.9
D 適切ではない	0	0.0
E 該当なし	0	0.0

項目	票数	%
A	22	75.9
B	5	17.2
C	2	6.9
D	0	0.0
E	0	0.0
計	29	100.0

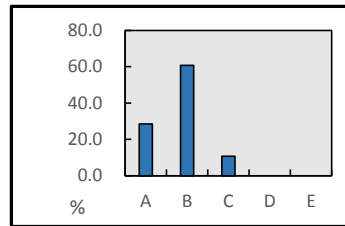
### (3) 教員の準備について



項目	票数	%
A よく準備されていた	18	62.1
B どちらかというと準備されていた	11	37.9
C あまり準備されていなかった	0	0.0
D 準備されていなかった	0	0.0
E 該当なし	0	0.0

項目	票数	%
A	18	62.1
B	11	37.9
C	0	0.0
D	0	0.0
E	0	0.0
計	29	100.0

### (4) 理解度について



項目	票数	%
A 理解できた	8	28.6
B やや理解できた	17	60.7
C やや理解できなかった	3	10.7
D 理解できなかった	0	0.0
E 該当なし	0	0.0

項目	票数	%
A	8	28.6
B	17	60.7
C	3	10.7
D	0	0.0
E	0	0.0
計	28	100.0

### (5) 講義全体で良かった点

- 全てのコミュニケーションを英語で行うこと。
- 英語を聞く機会としてよかった。
- 英語が聞き取りやすいようにゆっくりとした説明をしてくれた。
- 接続詞、助動詞、時制など、基本を学ぶことができ、感覚でよく理屈を理解できた。
- 各研究室の特色を見ることができて面白かった。
- 各先生が行っている研究の詳細から、有機化学の基礎的な内容まで、幅広い範囲の授業内容になっていて面白かった。
- 学部時に学べなかった基本的な事を学ぶと共に各研究に沿ったアドバンスな知識を付けることが出来た。
- 専門外の話が聞けて面白かった。
- 今まで聞いた事のない事柄、例えばバッチクランプ法等について聞いたことが非常にためになった。
- 開発の現状が知れてよかった。
- 先生方の自分の研究の話を交えて、分かりやすく説明・講義してくれたため、自分の研究に生かすことができないかと、アイデアをもらうことが出来た。
- 自身の研究分野以外の最新の情報や知識を得ることができた。
- 先生方の行っている研究を聞く機会があった。
- 先生方の研究を知ることで、どのように研究を進めていくのかを知ることができた。
- 論文の書き方、表現の仕方を初めて聞き勉強になった。
- 学部の授業でこのような授業を受けたかった。
- 論文の書き方を学ぶことで読み方も同時に深く学ぶことができた。
- 様々な研究者の生の声を聞くことが出来た点。
- 初歩的な所から話して下さったので分かりやすかった。
- 現状の医薬品開発事情などの最新情報があった点。
- 先生方の行っている研究を聞く機会があった。

### (6) 講義全体で悪かった点

- 授業開始までに指定された教科書を揃えるのが大変だった。
- テキスト購入の連絡は授業開始前に連絡して頂くか、若しくは授業計画に記載して頂きたい。
- プリントで問題の答え合わせをするが、日本語訳の正解が分からず、正解の英単語だけ直していくので、「どうしてその答えが入るのか」感覚として分からないことがあった。
- 自分の英語力が不足しているのが一番の原因だが、日本語で少しニュアンスを伝えてもらえるとう助かる。
- 宿題が多かったことが社会人には少し辛かった。(予習があることでより理解が深まったことは確かだが)
- 使用していない分析機器を使用しているものとして話をされていたので少し置いていかれたところ。
- 特にHPLCについて話される機会が多かったが、もう少し他の内容についても話していただけたらよかった。
- 内容が自分の専門でないことが多いので、スライドのコピー等の配付資料を授業ごとに配ってもらえると、後で授業を振り返る時に役立つと思う。
- 研究に関する講義内容が深いときにスライドなしでは理解するのに大変なことがあった。
- スライドの量が多い時、印刷してもらえるともう少し話を集中して聞いた。

## 2. その他、講義に対する希望やご意見などを記載してください。

- 学校に在籍している期間、同時期に同じように授業が行われるのであれば、論文を書くためにまた講義を受講したい。
- 先生の留学経験など大学院生にとってプラスになりそうな話をもっと取り入れて欲しい。